

第1回第4次日野市子ども読書活動推進計画策定委員会 議事要点録

日時 …… 令和元年5月23日(木) 14:45~16:45

場所 …… 市役所506会議室

出席者 …… 委員13名(欠席3名)、事務局2名

配布資料

- ・資料1：第4次日野市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱
- ・資料2：第4次日野市子ども読書活動推進計画策定委員会委員名簿
- ・資料3：「第4次日野市子ども読書活動推進計画」策定概要
- ・資料4：第3次日野市子ども読書活動推進計画の成果と課題
- ・資料5：第4次日野市子ども読書活動推進計画策定委員会 全日程について

1. 開会

2. 設置要綱説明

- ・資料1について、事務局より説明

3. 委員自己紹介

- ・資料2の記載順に委員自己紹介

4. 委員長・副委員長選出

- ・委員の互選により、紺野委員を委員長に選出
- ・副委員長は、委員長の指名により、金子委員を副委員長に選出

5. 議題

(1) 第4次計画の概要

- ・資料3について確認。事務局から説明、図書館長から補足あり
- ・「第4次計画」の策定は、「第3次計画」の方向性をベースに、具体的な取組について検討し修正や新しい取り組みを加えるものとする。
- ・資料3・資料5をもとに、策定委員会の進め方を確認。〈乳幼児〉〈小中学生〉〈青少年〉〈地域、普及・啓発〉の4カテゴリーに分け、順に「第3次計画」検証と「第4次計画取組検討」を行う。

第1回策定委員会 〈乳幼児〉 の「第3次計画」検証

第2回策定委員会 〈乳幼児〉 の「第4次計画取組検討」

〈小中学生〉の「第3次計画」検証

以下続く

(2) 第3次計画の検証 【乳幼児期の読書活動推進】

- ・資料4をもとに、各担当部署の委員等から補足説明。
- ・各委員より質問・意見

[乳幼児期の読書活動] についての検証

【健康課】の取組

- ・検診時、保育士による読み聞かせを継続して実施している。併せて、図書館の利用案内、図書館作成の年代別絵本リストの配布も行っている。

【図書館】の取組

- ・ママパパクラスで行っている図書館利用案内では、パパ（男性）に響くような案内が課題である。
- ・乳幼児の保護者向け利用案内、年代別絵本リストを作成し配布している。
- ・本を選ぶのに迷い、子ども連れで手短かに本を借りていきたい保護者に向けテーマ別に絵本3冊をセットした「絵本パック」の貸出を始めた。

【児童館】の取組

- ・各児童館でボランティアの読みきかせ等、地域力の活用がされている。

【保育園】の取組

- ・ボランティアによるおはなし会、保護者の読み聞かせは定着している。
- ・ひまわり号や図書館を利用することで公共マナーの習得も図っている。
- ・保護者に、読書の大切さを伝える工夫の検討を、保育士自主研修グループにより行っている。
- ・保育園時代に本に親しんでいた子どもたちが、小学生になり本から離れていく。いったいなぜなのか。

【幼稚園】の取組

- ・落ち着いた時間、楽しい時間を共有する道具として本を活用している。
- ・ボランティアや保護者の読み聞かせにより、新たな視点で本を楽しんでいる。
- ・幼稚園の蔵書の貸出を行い、家庭で読み聞かせの時間を持つよう促したり、園児自身が、他の園児の前で面白かった本の紹介をする時間も設けている。

[乳幼児期の読書活動推進のための諸条件の整備]についての検証

【図書館】の取組

- ・市立保育園との協働で、図書館員・保育士それぞれの視点からおすすめる乳幼児向け絵本リストを作成し、配布を始めた。
- ・現在、市立保育園・市立幼稚園との協働で、3～5歳児向け絵本リストの作成準備を行っている。
- ・読んだ本の記録になり、スタンプを押す楽しみもある読書パスポートを作成し配布している。
- ・乳幼児連れの保護者が気兼ねなく利用できるよう設定している「ひよこタイム」の時間を拡大し、他機関との連携によるイベントも実施している。
- ・乳幼児関連施設への配本を継続して行っている。

【発達支援課】の取組

- ・ 集団指導（かるがもクラス、通園等）での絵本読み聞かせをしているが蔵書に限りがあるため偏りがちである。紹介された絵本リストなどを参考に幅を広げたい。
- ・ 読み聞かせボランティアが、ひまわり号を利用する子どもや保護者がゆっくり本を選べるような支援も行っていることを知った。地域の活動を知ったうえで活用できることを考えたい。
- ・ 待合のスペースに貸出もできる図書コーナーがある。おもちゃも一緒に置かれており、絵本よりおもちゃに興味をもつ子どももいる。
- ・ 図書館の利用を困難と感じる（子どもが騒いでしまう、走ってしまうなど）保護者がいる。
- ・ 図書館の「絵本パック」を、エールのイベント時に活用できるのではないかな。

○【乳幼児期の読書活動推進】全体についての検証

- ・ 全体を通して「研修」が未達成の課題となっているが、例えば保育園と図書館の協働リスト作成は、作成過程が研修となっている。限られた時間の中、様々な手法を工夫してはどうか。
- ・ 図書館はいろんな人を受け入れてほしい。障害があり走り回ってしまう子ども等も受けとめて欲しい。「ひよこタイム」を誰でも来館OKの時間として名称も変更してはどうか。
- ・ 図書館で走り回っていいですよとは言えない。誰もが利用する場所として最低限のルールはある。その中で「図書館に来館しづらい」と感じている保護者にどうアプローチするのかが課題ではないか。「図書館は誰もが利用できる場所」であるとPRしたり、自由度の高いひまわり号の案内をする等、考えていきたい。
- ・ 超党派の国会議員が今国会に提出する見通しである「読書バリアフリー法案」にも今後注視していく必要がある。
- ・ 今回欠席、あるいは委員が選出されていない部署の取組については、次回検討する。
- ・ 「第3次日野市子ども読書活動推進計画」には参考になる「読書活動事例紹介」が掲載されている。「第4次日野市子ども読書活動推進計画」でも同様に紹介を掲載する。

6. その他（次回日程について）

- ・ 第2回策定委員会

令和元年6月27日（木）14時45分～16時45分

市役所内会議室にて（会議室は、開催通知に記載する）

7. 閉会